

中小企業列伝

中小企業独自の取り組みをレポート

～明日を支える小さな巨人たち～

第10回 株式会社こうゆう
代表 高濱 正伸

学級崩壊、校内暴力、不登校、子ども達の学習意欲の低下や自然体験の機会の減少、教員の業務過多による人材不足、家庭や地域の教育機能の低下など教育現場が抱える問題は深刻化している。公教育のあり方が問われているが、課題解決には至っていないのが現状だ。そんな中、子ども達が自立し、魅力的な人物になれるようにと、独自の教育法で学びを教える学習塾「花まる学習会」を設立した株式会社こうゆう代表高濱正伸氏に話を伺った。

「どう生きるかを自分で決める。それが遊びつくすということ」

今、他の学習塾にはない教育法で話題になっている「花まる学習会」。ここは、小学校低学年をターゲットに、受験のための詰め込み式のような勉強ではなく、将来「魅力的な人、そしてメシが食える大人」になることを目指し、思考力・国語力を中心に学ぶ意欲を伸ばすことを教育指針とした学習塾だ。この「花まる学習会」を運営する株式会社こうゆうの代表が高濱正伸である。

「なんて幸せな仕事だと思っています」

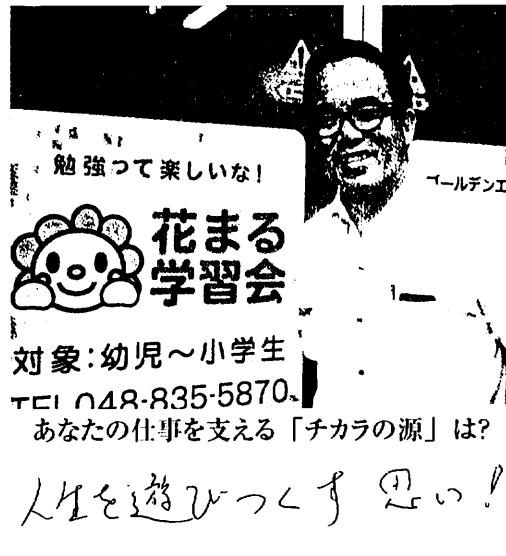
そう笑顔で話す高濱氏が、はなまる学習会を立ち上げたのは33歳のとき。塾講師として働いていたが、幼児教育に興味を湧き、幼稚園のお泊り保育のバイトをすることになったのだ。そこで、子ども達の純粋に感動する姿、溢れる笑顔に衝撃を受けた。当時、塾で受験のためだけに教えるということに疑問を抱いていたこともあり、「最近の子どもは考える力が足りない。本当は小学生時代に、考えることが楽しいということに気づいてほしいと思っている」とバイト先の園長に熱く語った。「やりたいことがあるならやりなさい」その言葉に背中を押され、子ども達の考える力を育てるための塾を立ち上げたのだ。

「今の親は孤独だと思うんです」

塾を始めた高濱氏を応援してくれ

たのが、子ども達の母親だった。宣伝用のチラシを作ってくれたりしたこと

株式会社こうゆう 代表 高濱 正伸



対象: 幼児～小学生

TEL 048-835-5870

あなたの仕事を支える「チカラの源」は?

人生を遊びつくす 思い!

もあるという。母親達との交流の中で気づいたことが、子育てに奮闘する母親達の孤独だ。もともと、子育ては、はじめてのことばかりで悩みはつきないもの。しかし、その悩みを伝える先がない。そんな今の時代に生きる親の心のありように気づいてあげることが必要だと高濱氏は言う。子どもが健やかに育つために大切な母の笑顔。花まる学習会では、そんな親達の悩みを軽くするために「子育て講演会」を実施している。母の笑顔が子ども達の健やかな学びにつながるの思いからだ。

「公教育に貢献したい」

花まる学習会は口コミでひろがり、

今や、在籍者は16,000名以上。オリジナルテキストだけでなく、その考え方が受け入れられ、塾を誘致したい親たちが自主的に保護者会を開くまでになった。会は大きくなったが、いまだに高濱氏は現場で子ども達を教えている。今、一番力をいれていることを聞くと「公立の教育を変えたいと思っているんです。試験に生きる勉強はしているけれど、社会で生きる、人間と人間のあいだで魅力的に生きるという教育がなされていない。今まで、塾で培ったノウハウを活かし、モデルケースを作りたいですね。」と話す高濱氏の顔からこぼれる笑顔。これからも教育の現場で、たくさんの笑顔の花を咲かせてくれるだろう。

プロフィール

高濱 正伸 (たかはま まさのぶ)

1959年、熊本県生まれ。県立熊本高校卒業。東京大学・同大学院卒。「作文」「読書」「思考力」「野外体験」を重視した学習教室「花まる学習会」を設立。小学4年生～中学3年生を対象に、「本格的な学習方法」を伝授する学習塾「スクールFC」を設立。子ども達の「生き抜く力」を育てることを重視している。算数オリンピック問題作成委員・決勝大会総合解説員を経て、現在は算数オリンピック委員会の理事を務める。また、埼玉県内の医師やカウンセラーから組織された、ボランティア組織の一員として、長年、いじめ・不登校・家庭内暴力などの実践的問題解決の最前線でケースに取り組んできた。現在は、NPO法人子育て応援隊むぎくみの理事長も務める。

●株式会社こうゆう

〒330-0061

埼玉県さいたま市浦和区常盤9-19-10

<http://www.hanamarugroup.jp/>